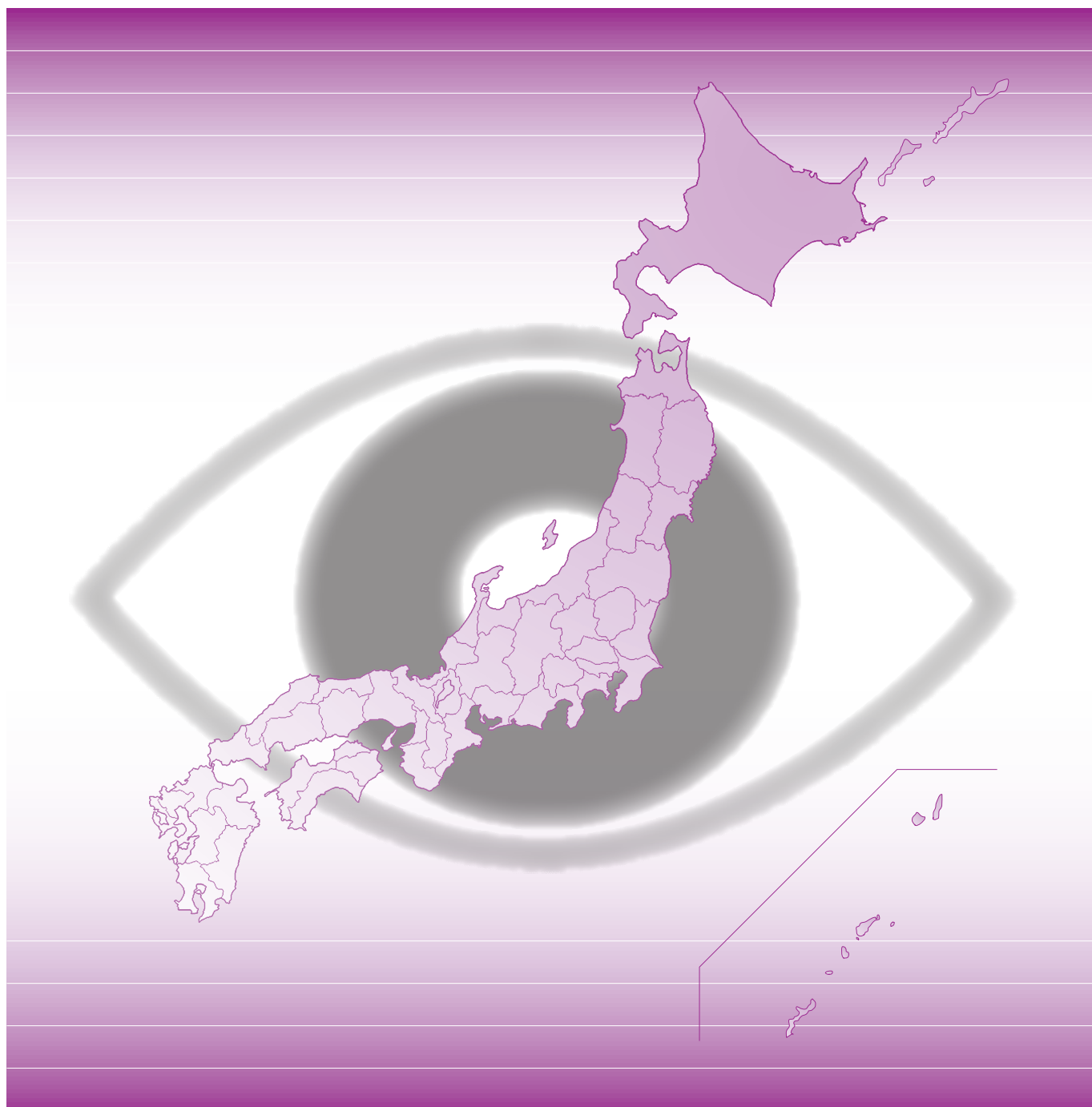


JEAS News

vol. **25**

2016 春号

スーパーマーケット・トレード ショー2016 & セキュリティショー2016特集



JEAS News

第25号

目 次

ごあいさつ	日本万引防止システム協会 会長 戸田 秀雄	1
Supermarket Trade Show 2016 & SECURITY SHOW 2016		3
「15 分勉強会」について		4
業界で活躍する女性のご紹介 シリーズ 5		5
常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミットの概要		6
日本万引防止システム協会のご案内		8
日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図		表 3
日本万引防止システム協会 会員名簿 ご相談窓口について		表 4

万引きは窃盗罪です !!

刑法 235 条「窃盗罪」

10 年以下の懲役、もしくは、50 万円以下の罰金刑





ごあいさつ

日本万引防止システム協会 会長 戸田 秀雄

新年明けましておめでとうございます。

当協会は、平成14年に日本 EAS 機器協議会として設立、その後平成23年に日本万引防止システム協会に名称変更し今日に至っています。これまでの14年間、関係省庁はじめ関連諸団体の皆様のご指導・ご支援を賜りつつ、会員各社の協力のもと、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する万引防止の産業団体に成長しております。

さて、最近の万引犯罪の状況ですが、わが国の刑法犯認知件数がここ13年で半減する中で、万引犯罪の減少傾向は弱く全刑法犯認知件数の10.7%、検挙者の3人に1人を占めるに至っています。またその特性としても高齢者の犯罪が少年を上回る社会的問題化や組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、悪質化が目立ってきています。

このような犯罪情勢を踏まえ、NPO 法人全国万引犯罪防止機構と当協会メンバーが日本側エキスパートとして、10月26日（月）・27日（火）米国フロリダ州ボカトン市で開催された常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミットに参加しました。

米国側のエキスパート達の説明によると「米国の万引被害等（カーゴ窃盗含む）による不明ロスは年間約5.3兆円～約7.8兆円（1\$ = 120円換算）に達しており、特に深刻なのは、組織的に小売店から大量に万引きを行う集団窃盗被害である。集団窃盗の被害によって、年間約3.6兆円～4.8兆円の損失が発生している。（推定値）」ということでした。

一方、日本では2000年頃から集団窃盗の事案が確認され、一昨年群馬県警が検挙した集団窃盗犯による推定被害額は5億円でした。今後当協会としても、規模が拡大している集団窃盗被害に対し相当の危機感を持って、以下の米国事例を参考にしながらより具体的な対策や広報活動を講じなければと考えております。

【米国で行われている対策事例の要旨】

1. 同業間が同じ情報共有のためのデータベースを持ち、連携を取りながら万引対策を行っている。さらにはネット通販会社や警察とのパートナーシップを持って連携を図り、効果的な対策を行っている。
2. たとえ1社だけが解決できたとしても、全体として放置すれば最終的には、ロスが増え、盗品販売により市場価格が下落し、ユーザーが離れ、さらにはより大きな犯罪を生むことになるという共通認識が醸成されていた。
3. 専用の盗難情報データベースソフトを活用しながら、各地域で盗難情報の共有化が進められており、顔認証技術もさまざまなリスクに配慮しながら普及が進んでいる。

今後の重点施策として、未然防止や不審者発見のトリガーとしての EAS 機器導入による不明ロスの削減効果の向上、犯罪行為の再発防止につながる防犯画像技術などの新技術との複合システム効果で、万引をさせない、見逃さない、確かな防犯環境作りに邁進しなければなりません。そのためには、商店経営者様との情報交換の活発化、さらにはシステムを扱う従業員さんや警備員さんなど関係の皆様への緊密なサポートが必須だと感じております。

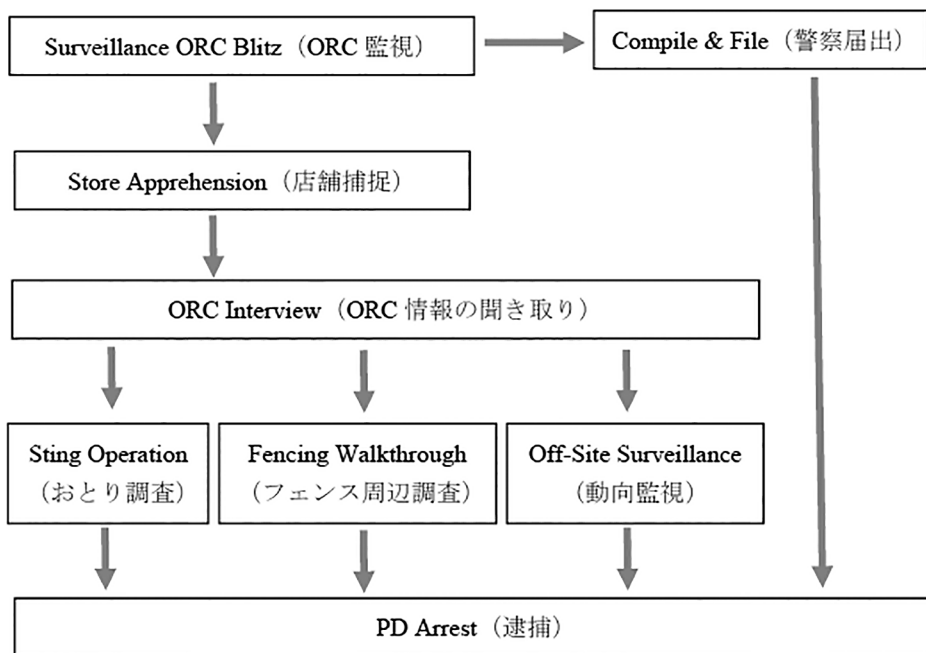
同時に作業軽減と防犯力強化を目的として製造段階での「ソースタギング」のような社会的な仕組み作りも大変重要な取り組みとなります。このようにお客様のニーズに応えることこそ、結果的に万引に関する認知件数、検挙・補導件数を減らすことに繋がると確信しております。

本年は2月10日（水）～12日（金）に開催される第50回スーパーマーケット・トレードショー2016に協会ブースを初出展するほか、2016年3月8日（火）～11日（金）に開催されるセキュリティショーの万引防止&ロス削減ゾーンに出展します。こちらは特設ステージや会議棟でのセミナーが予定されております。会場はともに東京ビッグサイトです。ブースには協会説明員がおり、皆様のお越しをお待ちしております。

日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、地域社会の安全・安心を向上させることこそ、「犯罪のない社会の実現」につながるとの信念の基、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミット2015より

ORC 対策戦略



※ Organized Retail Crime の略称名。組織的に小売店から大量に万引きを行う犯罪行為のこと。

※ Fence とは買取り屋である。Fence は①レベル1 = ブースターを教育する役割、②レベル2 = 故買屋、③レベル3 = 継続的に盗品を扱う卸し業者の3つのレベルがある。とにかくフェンスをつぶすことが重要である。

Supermarket Trade Show 2016 & SECURITY SHOW 2016

2月のスーパーマーケットトレードショー2016と3月のセキュリティショー2016が東京ビッグサイトで開催されます。それに合わせ当協会のご案内ブースを出展いたします。期間中は万引対策や在庫管理面の経験豊富な説明員が常駐しておりますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

スーパーマーケットトレードショー2016（2月10日（水）～12日（金））

情報・サービスゾーン 東京ビッグサイト 東1ホール E1-308

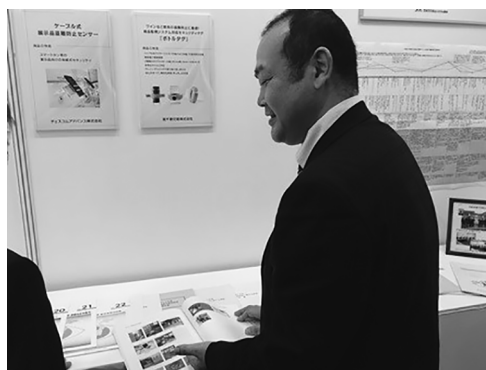
セキュリティショー2016（3月8日（火）～11日（金））

万引防止&ロス削減ゾーン東京ビッグサイト 東3ホール SS3105

昨年のブース



説明の様子



セキュリティショーでは、3/10（木）12：40～13:10に東3ホールの特設ステージにおいて当協会のセミナーを開催します。

タイトル：万引防止のための「盗難情報データベース構築委員会」報告

内 容：全国万引犯罪防止機構と日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合の共同調査報告書をベースに、当協会が注目する新たな万引防止施策 ①盗難情報データベース仕様、②防犯画像利用に向けての利活用方法やガイドライン、③ネット市場への盗品流出阻止に向けての個体認証付与方法、④ネット管理者や利用者への盗品情報利用への盗品情報の提供の仕組みの活動 に関する研究報告会です。

なお、当日は開始7分前から協会説明ビデオを上映します。

「15分勉強会」について

日本万引防止システム協会では、定期的に行われる理事会において、会員各社より、協会員のさらなるレベルアップのために、様々な情報をわかりやすく解説いただく勉強会を実施しております。

最近、開催した内容は、以下の内容です。資料は協会ホームページにある会員ページにあります。

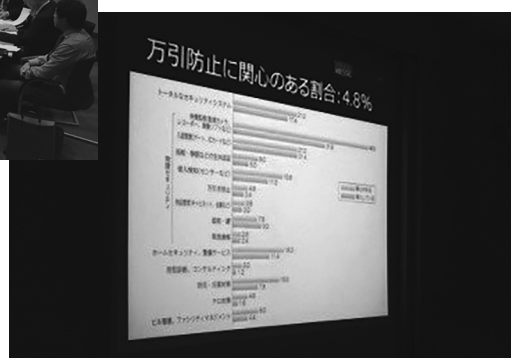
7月3日（金）「スーパーマーケットトレードショー2016をフル活用しよう！」

講師は（一社）新日本スーパーマーケット協会 業務本部事業企画2課3課 副参事 SMTS チームリーダー 富張 哲一朗氏が担当されました。当協会は、スーパーマーケットトレードショー2016に出展し、スーパーの皆様に各種の万引対策をご提案することが決まっております。今回の勉強会はそれに向けての準備の一環です。



11月11日（水）セキュリティショー2016の企画説明

講師に日本経済新聞社文化事業局イベント事業部の桂景一様をお迎えし、次回のセキュリティショーの企画やWebでの情報配信についてお話を頂戴しました。来場者の万引防止への関心度は4.8%というデータもご紹介いただきました。



業界で活躍する女性のご紹介 シリーズ5

平成27年9月18日

株式会社エイジス 経営企画室

社内報担当 平山 千恵さん

経歴

2010年4月入社。東東京ディストリクトオフィス（錦糸町）で、次に東京ディストリクトオフィス（高田馬場）を経験。2011年11月に本社（幕張）へ移り人事教育部、2012年4月に人事総務部を経験し2013年10月に現在の部署に配属。

入社動機

中国湖南省にある大学に留学していた際、エイジスが中国事業拡大に向け人材を募集していたので、そのお役に立とうと思って。

現在の仕事内容

隔月発行の社内広報誌作りを主に経営戦略部門の各種の企画に携わっています。その中でも次世代のコーポレートアイデンティティ作りは、重い責任を感じています。

仕事の大変さとやりがい

社内報によって、会社の方針をわかりやすく全社に伝え、皆さんが生き生きと仕事に向き合ってもらえたらと願っています。企画から取材、編集、DTP（印刷用のデータ）作成、印刷までを内製化しているため、編集ソフトは独学で勉強しています。まだまだ未熟なので落ちこんだりしますが、そんなときは飲みニケーションでリフレッシュします。

ご家族と趣味

独り身なのでいつかは温かな家族を持ちたいです（良縁募集中）。最近はロードバイクにはまっています。季節の風を感じながら荒川の土手などを走っています。

業界に対する未来への提言

棚卸業務をさせていただくことは、その会社の通信簿作りに参画していることだと思っています。それ無くしてロス対策の継続は無いと思います。いま話題になっているオムニチャンネルも、それを実現するためには正確な在庫管理が不可欠だと思います。つねに基礎業務の重要性を忘れたくはありません。

他の女性社員や若手社員

入社後に大病を患ったり、苦手な分野の仕事に行き詰ったりした時期もありましたが、それらは今こうして花咲くための‘必然’であったと思うようにしています。



右が平山さん。左が株式会社エイジス新規事業開発室シニアマネジャー 米山英志さん（当協会総務委員）

コピー・転用不可

万引防止システムの業界としては、主な事業の対象が小売業等の接客業であり、その小売業を取り巻く地域社会であることを考えると、女性目線が強力な力を発揮する場面が多くあると考えることができます。その場面を顕在化しながら女性の社会進出の促進と協会の持続的な発展のため活躍する方々の紹介を行っていきます。つきましては、万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている女性を紹介いただきたく、お願い致します。

日本万引防止システム協会 総務委員会

常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミットの概要

特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構（本部：東京都新宿区、理事長：竹花 豊）の会員及び関係者が日本側エキスパートとして、10月26日（月）・27日（火）米国フロリダ州ボカトン市で開催された常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミットに参加しました。

【米国の万引状況】

米国側のエキスパート達の説明によると「米国の万引被害等（カーゴ窃盗含む）による不明ロスは年間約5.3兆円～約7.8兆円（1\$ = 120円換算）に達しており、特に深刻なのは、組織的に小売店から大量に万引きを行う ORC 被害※1である。ORC 被害によって、年間約3.6兆円～4.8兆円の損失が発生している。（推定値）ORC 発生は1990年以降に米国では確認されるようになった。2005年頃には、一つの ORC の被害は5億円前後だったが、最近では70億円を万引したスーパー ORC が検挙されている。※3」ということでした。

一方、日本では2000年頃から ORC の発生が確認され、一昨年群馬県警が検挙した ORC は推定被害額は5億円でした。当機構として、規模が拡大している ORC 被害に対し相当の危機感を持って、具体的な対策や広報活動を講じなければと考えております。なお、日本の万引の推定被害額は、4,615億円※3ですが、ORC による推定被害額に関するデータが無いので、調査の必要性を感じております。

※1 Organized Retail Crime の略称名。組織的に小売店から大量に万引を行う犯罪行為、または、その組織のこと。

※2 3頁にスーパー ORC の組織図を掲載。

※3 万防機構 HP の「報道/学術関係の皆様へ」の頁を参照のこと。

【米国で行われている対策事例の要旨】

1. 同業間が同じ情報共有のためのデータベースを持ち、連携と取りながら組んで万引対策を行っている。さらにはネット通販会社や警察とのパートナーシップを持って連携を図り、効果的な対策を行っている。

2. たとえ1社だけが解決できたとしても、全体として放置すれば最終的には、ロスが増え、盗品販売により市場価格が下落し、ユーザーが離れ、さらにはより大きな犯罪を生むことになる。という共通認識が醸成されていた。

3. 専用の盗難情報データベースソフトを活用しながら、各地域で盗難情報の共有化が進められており、顔認証技術もさまざまなリスクに配慮しながら普及が進んでいる。大量窃盗団対策に関する ORC 法も30州で立法化されている。店舗側の自衛の措置としてのショップキーパー法が初犯などの再犯防止対策に寄与している。さらにはアカデミアが各種調査を担当し、思い込みや先入観ではなく、実際のデータに基づいた対策の推進に寄与している。などの貴重な情報が得られました。

【参加の目的】

この常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミット（以下、国際サミット）参加の背景として、わが国の刑法犯認知件数がここ10年で半減する中で、万引犯罪の減少傾向は弱く全刑法犯認知件数の約10%を占めるに至り、またその特性としても高齢者の犯罪が少年を上回る社会的問題化や組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、悪質化が目立ってきています。その対策のために、既に盗難情報データベースを構築している米国の先進事例を学ぶことが必要と感じていた矢先、米国関係者への働きかけが実を結び、米国側より国際サミットへの招聘がなされました。今回学んだ米国情報を参考にしながら、まずは業種別・地域別盗難情報データベースの構築を目指します。

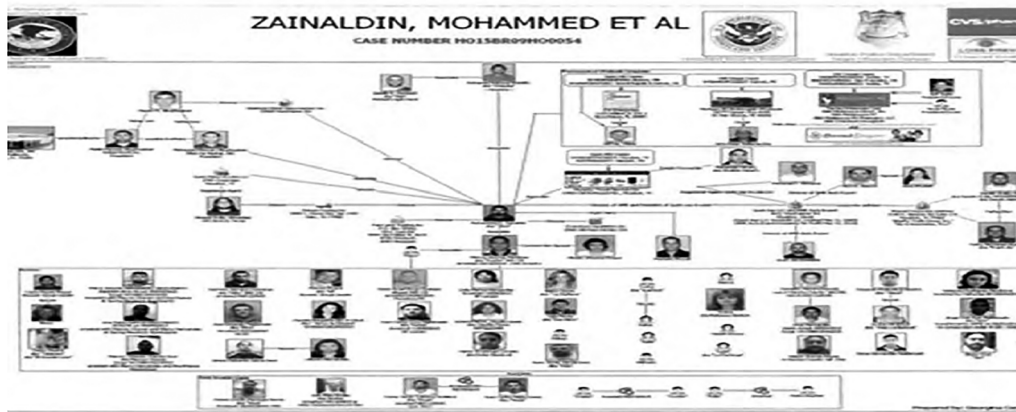
【各組織からの協力】

今回の国際サミットは、米国と日本における万引犯罪に対する取組みについて情報交換を行うことを目的として開催されたもので、米国の防犯機器メーカーである TYCO（タイコ）社、米国のインターネットオークション運営会社である eBay（イーベイ）社、日本の防犯機器メーカーである高千穂交易(株)のサポートにより

参加にあたっては、東京都万引防止官民合同会議の事務局である警視庁及び盗難情報データベース構築委員会を主催する日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合からも米国における万引対策に関する各種調査の依頼を受けたため、これらの調査も併せて実施することと致しました。

【今後について】

約70億円の被害を出したスーパー ORC の組織図



日本万引防止システム協会のご案内

日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業
- 小売業にサービスを供給している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（平成23年6月13日改訂）

会員ランク		年間売上金額	年会費
正会員	1	40億円以上	300千円
	2	20億円以上、40億円未満	250千円
	3	10億円以上、20億円未満	200千円
	4	5億円以上、10億円未満	150千円
	5	3億円以上、5億円未満	110千円
	6	1億円以上、3億円未満	95千円
	7	1億円未満	80千円
賛助会員			30千円

基本は万引防止システム関連の年間売上金額に応じた年間会費となります。

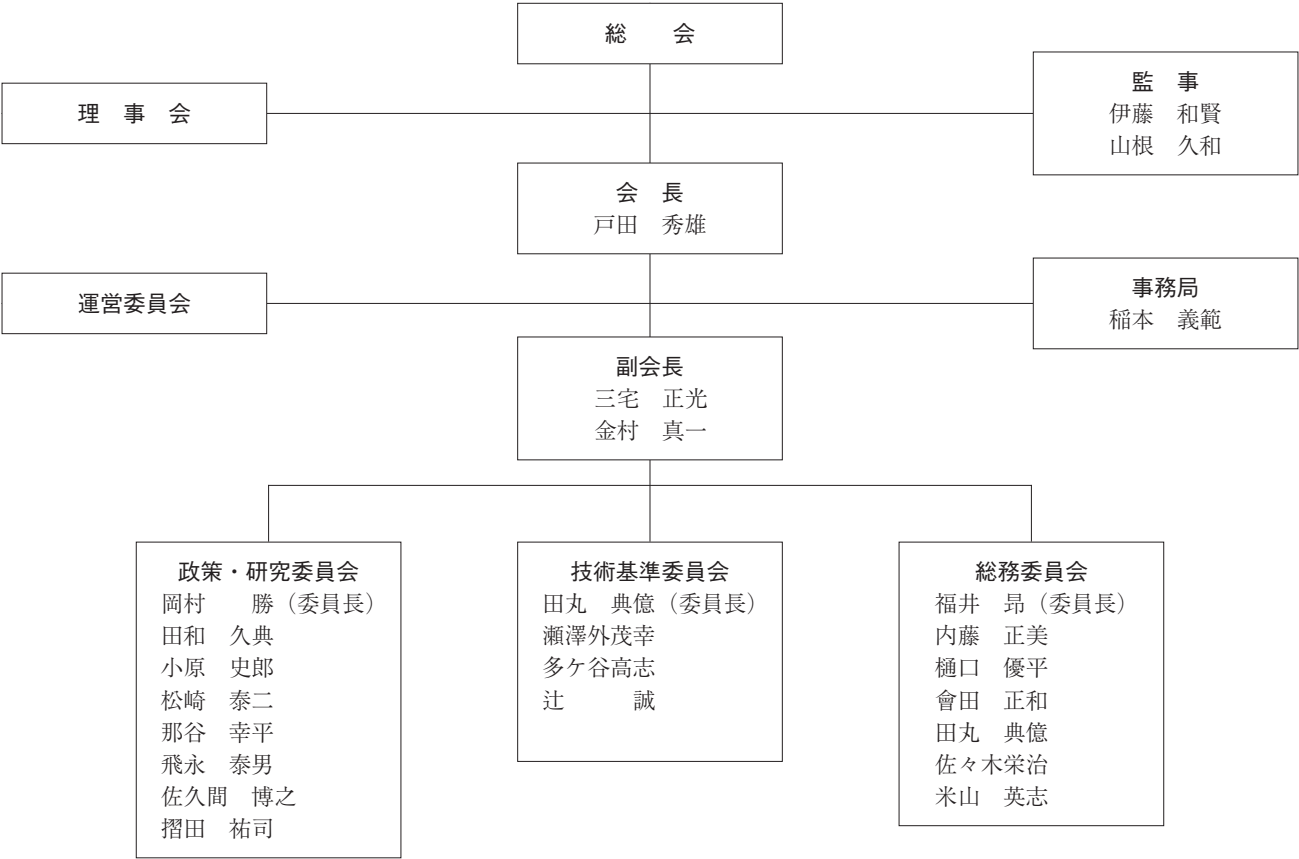
新規入会企業および団体を募っています。

- ◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
 - ◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様
- 入会に関するお問い合わせはJEAS会員企業または事務局までお願いします。

平成28年度 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	協会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	代表取締役社長	戸田秀雄
2	副会長	（株） 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	（株）チェックポイントシステム ジャパン	代表取締役社長	金村真一
4	理事 （政策・研究委員会）	IDEC システムズ&コントロールズ （株）	取締役 セキュリティ事業部 部長	田和久典
5	理事 （政策・研究委員会）	キャトルプラン（株）	代表取締役社長	佐藤圭三
6	理事 （政策・研究委員会）	スリーエムジャパン（株）	トラフィック セーフティ・セキュリ ティ事業部 事業部長	飯田裕一
7	理事 （政策・研究委員会）	（株）ジーネット	セキュリティシステム部 部長	那谷幸平
8	理事 （政策・研究委員会）	（株）店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 （総務委員会）	（株）S－C u b e	顧問	福井 昂
10	理事 （総務委員会）	西武産業（株）	取締役営業部長	樋口優平
11	理事 （総務委員会）	チェスコムアドバンス（株）	常務取締役	内藤正美
12	理事 （技術基準委員会）	タカヤ（株）	事業開発本部R F 事業部 営業部S S 担当マネージャー	田丸典億
13	監事	松尾産業（株）	顧問	伊藤和賢
14	監事	セフト HD 株式会社	代表取締役社長	山根久和

日本万引防止システム協会組織図



会 員 名 簿

【正会員】

企業・団体名

アイアンドティテック(株)

IDECシステムズ&コントロールズ(株)

(株)エイジス

(株)S-Cube

NECソリューションイノベータ(株)

エム・ケー・パビック(株)

(株)岡村製作所

沖電気工業(株)

浙江 カン電子会社

(株)キャトルプラン

(株)ジーネット

シグマ(株)

スリーエムジャパン(株)

企業・団体名

西武産業(株)

セコム(株)

セフトHD(株)

高千穂交易(株)

タカヤ(株)

チェスコムアドバンス(株)

(株)チェックポイントシステムジャパン

(株)店舗プランニング

松尾産業(株)

(株)三宅

ユニチカ(株)

ユニパルス(株)

【賛助会員】

企業・団体名

募集中

正会員数25社

【特別会員】

企業・団体名

公益社団法人日本防犯設備協会

一般社団法人日本自動認識システム協会

一般社団法人全国警備業協会

NPO 法人 全国万引犯罪防止機構

タグ&パック事務局

50音順（平成27年6月2日現在）

万引防止システム ご相談窓口について

日本万引防止システム協会では、EAS 機器全般に関するご相談の窓口を開設しております。

ご相談窓口では、皆様からの EAS 機器に関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。

ご連絡先は、下記の日本万引防止システム協会事務局宛となります。

日本万引防止システム協会 会報 第25号

発行日：平成 28年 1 月 25日

発行人：戸田 秀雄

発 行：日本万引防止システム協会 事務局

〒 160-0004 東京都新宿区四谷 1-2-8

TEL 03-3355-2322 FAX 03-3355-2344

<http://www.jeas.gr.jp/>